

## 第8回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事要旨

### 1 開催日時

令和2年3月25日（水） 開会 午前9時5分 閉会 午前10時5分

### 2 開催場所

庁議室

### 3 出席者

本部長：市長、副本部長：副市長、教育長

本部員：企画部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、こども子育て部長、都市整備部長、消防長、教育部長、議会事務局長、監査委員事務局長、尾張旭市長久手市衛生組合事務長

### 4 議事の要旨

#### (1) イベント等の中止及び延期、公共施設の利用中止の今後の方向性について

- ・国の専門家会議において、オーバーシュートが生じた場合の3つの地域ごとの対応に関する基本的な考え方が示された。現状オーバーシュートは生じていないが、この考え方を参考に検討することとした。
- ・愛知県知事は、県内の感染状況について「名古屋市には2つの『クラスター』があり、ほかにも散発例があるが、それも含めて感染経路は追えている。市中感染が起きているという状況はない。」と発言している。
- ・本市では、市内の病院の職員の陽性が確認されたが、市内在住者で感染者が発生していないことから、「感染状況が収束に向かい始めている地域並びに一定程度に収まってきている地域」と判断した。
- ・瀬戸旭医師会に、学校の再開、イベント及び公共施設の利用中止について意見を伺ったところ「国の専門家会議の提言に基づき適切に対応してもらえばよい。できる限り、近隣市と連携し足並みを揃えていただきたい。」との意見をいただいた。

#### (2) イベント等の中止及び延期の方針について

- ・イベント等については、専門家会議が提言した3つの条件（①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面）に係る事項をこれまでの方針に追記し、期間を4月30日（木）まで延長する。
- ・市内に感染者が発生した場合は、本部会議を開催し、再度見直しを行うものとする。

#### (3) 公共施設の利用中止について

- ・公共施設については、地域活動及び社会活動を総合的に判断して再開の判断をし、「3つの条件（①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近

で会話や発声をする密接場面)が同時に重なる場」を徹底的に回避する対策をしたうえで、4月1日(水)から利用を再開する。

- ・現在利用を中止している施設の担当課からの聞き取りした結果、利用者からは「4月からは通常利用できるのか。」、「柔軟な対応をしてほしい。」、指定管理者からは「施設を休止した補填があるのか。」などの意見が寄せられている。
- ・多くの担当課からは通常利用へ戻したいとの意見が多い。
- ・利用者と施設管理者の留意事項を、国の専門家会議の提言を参考に作成した。また、保健所から、公共施設の利用を再開する場合は、利用者を把握し、日中連絡できる連絡先を記載した名簿を作成し、必要があれば提出を求めるなど、感染者が発生した場合に追跡することができるようにしてほしいとの助言があったので、利用者の名簿を作成した。
- ・各公共施設の再開の可否、制限を設けての再開など各施設で状況が異なるため、本日開催する尾張旭市公共施設施設長連絡会議で、詳細の内容は決定する。
- ・消毒液の設置などの、感染拡大の防止対策を今まで以上に行うこととする。
- ・公共施設を開館していくことになるが、気を緩めることなく危機感を持って対応していく。
- ・市内に感染者が発生した場合は、本部会議を開催し、再度見直しを行うものとする。

### (3) 情報共有について

- ・**新型コロナウイルス感染症に関するQ&A集について**
  - ・現在ホームページで公表している新型コロナウイルス感染症に関するQ&A集を本日の内容を踏まえて、修正する必要があるため、庁内へ依頼する。
  - ・更新したQ&Aの内容を、4月末まで、AI(人工知能)を活用した自動音声プログラムでの利用も開始する。

### (4) その他

- ・学校再開については、文部科学省からガイドラインが示され、愛知県からも方針が通知されると聞いている。
- ・国が示したガイドライン、10項目のチェックリストや県の方針を受け、各学校で対策を行いながら、再開に向けて準備を進めていく。
- ・明日、県内の教育長会議が開催され、具体的な説明があると思われる。教育長会議の結果を受け、翌日の27日に校長会を開催する。
- ・学校再開について、保護者に対してはメールで送信する。
- ・給食も合わせて再開する。
- ・本日の決定事項については、できるだけ早く情報発信を行う必要があるため、

発表できる内容を早急に調整し、プレスリリースする。